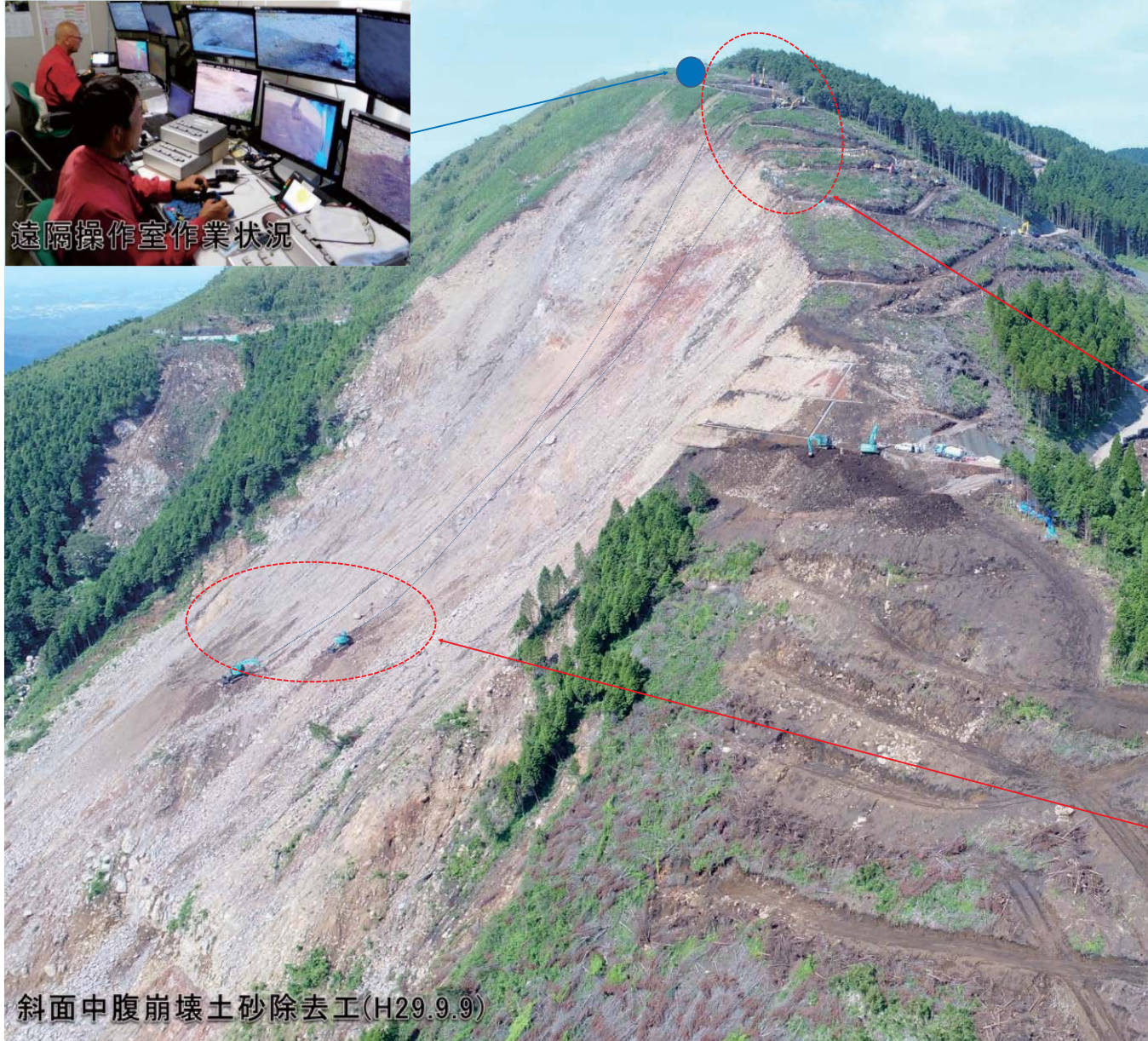
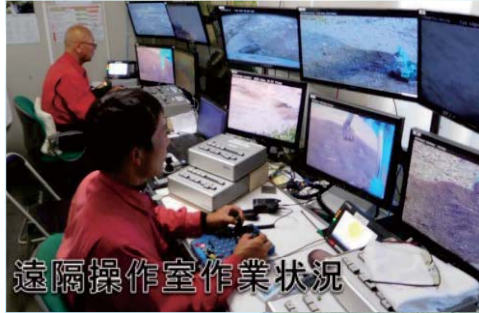


# 現在実施中の恒久的な斜面安定化対策の内容

- 頭部よりワイヤーで吊したロッククライミングマシン(2台)により、斜面中腹に残る崩壊土砂等を下部へ除去
- 500mのワイヤードラムを搭載したウインチを独自に開発・制作し、長大斜面での作業を可能にした



# 斜面の恒久的な安定化対策について

地質状況、斜面状況や想定される崩壊の形態から対策施工エリアを区分けして、それぞれに応じた基本的な対策工の考え方を示す。

エリア	箇所名	斜面勾配(崩壊地内)	対策の考え方
①	ラウンディング部	40° (1:1.2)以下	【対策工】 植生マット工、ネット工※
②	崩壊地頭部	40° (1:1.2)以下	【対策工】 崩土除去、植生マット工、ネット工※
③	崩壊地下部	10° ~20° の緩斜面	【対策工】 山腹工(柵工)、植生工、水路工
④	熊本側のガリー 侵食箇所	部分的に40° 以上の急斜面	【対策工】 ネット工※+鉄筋挿入工、植生マット工、水路工
⑤	大分側凸地形	崩壊地外	【対策工】 排土工+アンカー工、植生マット工
⑥	崩壊部側面部	部分的に40° 以上の急斜面	【対策工】 ネット工※+鉄筋挿入工、植生マット工

※現地条件を踏まえ法枠工等の対策工を選定することも想定



フォトモンタージュ



恒久対策完了イメージ (植生回復後)